# 公共施設評価書（社会体育施設）

| 番号 | 37 | 施設名 | 掛川市安養寺運動公園 | 担当課名 | 社会教育課 | 記入者職氏名 | 主事　小野田貴文 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

1　コスト情報　　（単位：円、%）

| 区分 | | H20決算額 | H21決算額 | H22決算額 | H23当初予算額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)運営コスト（A） | ①人件費 | 13,027,000 | 11,471,000 | 11,471,000 | 11,520,000 | |
| | ②印刷・事務用品、通信費、燃料費、旅費、図書費など | 449,601 | 444,139 | 410,725 | 433,000 | |
| | ③借上料 | 1,244,611 | 1,033,096 | 593,818 | 901,000 | |
| | ④保険、消費税（租税公課）等 | 698,840 | 624,210 | 619,280 | 623,000 | |
| | ⑤その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費) | 697,280 | 729,494 | 549,995 | 593,000 | |
| | 計 | 16,117,332 | 14,301,939 | 13,644,818 | 14,070,000 | |
| | 対前年度増減率 | | △ 11.3 | △ 4.6 | 3.1 | |
| (2)施設コスト（B） | ①管理委託費(外注費) | 2,436,177 | 2,510,292 | 2,470,894 | 2,549,000 | |
| | ②修繕費 | 437,040 | 310,127 | 263,247 | 200,000 | |
| | ③光熱水費 | 4,037,628 | 4,074,881 | 4,438,551 | 4,242,000 | |
| | ④燃料費 | | | | | |
| | ⑤その他(施設消耗品) | 2,370,823 | 2,309,761 | 1,729,490 | 1,049,000 | |
| | 計 | 9,281,668 | 9,205,061 | 8,902,182 | 8,040,000 | |
| | 対前年度増減率 | | △ 0.8 | △ 3.3 | △ 9.7 | |
| (3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B） | | 25,399,000 | 23,507,000 | 22,547,000 | 22,110,000 | |
| (4)合計のうち運営コストの割合 | | 63.5 | 60.8 | 60.5 | 63.6 | |
| (5)利用料収入 | | 5,657,550 | 5,056,350 | 4,669,600 | 5,249,000 | |
| (6)運営コストのうち利用料収入の割合 | | 35.1 | 35.4 | 34.2 | 37.3 | |

２ ストック情報

（単位：人、％、円、日）

| 区分 | | 説明 |
|---|---|---|
| １ 施設の状況 | (1)設置目的 | いこいの広場に対して、合併前の旧掛川市東部地域の屋外スポーツの拠点として設置された |
| | (2)施設機能 | 多目的広場(8972㎡軟式野球1面)、テニスコート(ハードコート2面、ナイター設備有)、屋外プール(50m×8コース)、管理棟、駐車場(120台) |
| | (3)建設年度 | 平成２年度 |
| | (4)耐震性の有無 | 有 |
| | (5)将来予想される改修経費 | テニスコート、屋外プール修繕費 |

| 区分 | | | H20実績 | H21実績 | H22実績 | H23当初 | 備考（稼働率の考え方） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２ 利用状況 | (1)利用者数 | | 29,997 | 30,376 | 28,866 | 0 | |
| | ①多目的広場 | | 5,992 | 7,864 | 7,503 | | |
| | ②テニスコート | | 4,902 | 5,635 | 5,252 | | |
| | ③プール | | 17,527 | 15,074 | 14,333 | | |
| | ④その他(ミーティングルー | | 1,576 | 1,803 | 1,778 | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | (2)稼働率 | | | | | | |
| | ①多目的広場 | 平日昼間 | | | 10.00 | | |
| | | 平日夜間 | | | 32.00 | | |
| | | 休日昼間 | | | 74.00 | | |
| | | 休日夜間 | | | 30.00 | | |

| 区分 | | | | H20実績 | H21実績 | H22実績 | H23当初 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 利用状況 | (2)稼働率 | | | | | | | |
| | | ②テニスコート | 平日昼間 | | | 28.00 | | |
| | | | 平日夜間 | | | 72.00 | | |
| | | | 休日昼間 | | | 58.00 | | |
| | | | 休日夜間 | | | 26.00 | | |
| | | ③プール | 平日昼間 | | | | | |
| | | | 平日夜間 | | | | | |
| | | | 休日昼間 | | | | | |
| | | | 休日夜間 | | | | | |
| | | ④その他 | 平日昼間 | | | 0.375 | | |
| | | | 平日夜間 | | | | | |
| | | | 休日昼間 | | | 0.625 | | |
| | | | 休日夜間 | | | | | |
| | | | 平日昼間 | | | | | |
| | | | 平日夜間 | | | | | |
| | | | 休日昼間 | | | | | |
| | | | 休日夜間 | | | | | |
| | | | 平日昼間 | | | | | |
| | | | 平日夜間 | | | | | |
| | | | 休日昼間 | | | | | |
| | | | 休日夜間 | | | | | |

| 区分 | | | H20実績 | H21実績 | H22実績 | H23当初 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (2)稼働率 | | | | | | |
| | | 1日平均利用者数 | | | | | |
| | | 1日平均利用者数 | | | | | |
| 3 管理・運営状況 | (1)指定管理者名 | | NPO法人掛川市体育協会 | NPO法人掛川市体育協会 | NPO法人掛川市体育協会 | NPO法人掛川市体育協会 | |
| | (2)一人当たりの運営経費 | | 537 | 471 | 473 | | |
| | (3)運営日数 | | 284 | 310 | 310 | | |
| | (4)運営人員 | ①正規職員 | | | 2.0 | | |
| | | ②臨時職員 | | | 1.0 | | |
| | (5)利用エリアの位置づけ | | | | | | |

3 施設の評価

| 評価の観点 | 評価のポイント | 判断（該当する「□」を塗りつぶす） | 左の判断の理由 |
|---|---|---|---|
| (1)施設目的の重要性 | ①目的は納得できる内容か<br>②社会的に重要な課題に関係しているか<br>③施設がないとどのようなデメリットがあるか | □重要性は高い<br>□重要性は概ね高い<br>■重要性は高くない | 施設の経過年数や状況を考えると、設置当初の目的は達成されていると思われる。 |
| (2)施設の有効性 | ①施設規模と運営内容は課題解決に繋がっているか<br>②スポーツ人口は増加しているか<br>③今後も成果を見込めるか | □施設の有効性は高い<br>■施設の有効性は概ね高い<br>□施設の有効性は高くない | 多目的広場、テニスコートの利用者は大幅贈は見込めないが、継続的な利用者が多いのが現状である。 |
| (3)将来の財政負担 | 老朽化などから将来の設備投資の予定額はどの程度か | □1千万円未満<br>■1千万円以上1億円未満<br>□1億円以上 | 多目的広場、テニスコート、屋外プール等がオープンから年数が経過しており、修繕費が相当見込まれる。 |
| (4)管理運営費の妥当性 | ①管理運営費の算出根拠は妥当か<br>②管理運営費に削減の余地はないか | □管理運営費は妥当<br>■管理運営費は概ね妥当<br>□管理運営費は妥当ではない | 他市の同類施設や民間施設との比較が単純にできず、妥当かどうかの判断ができない。今後検証していきたい。 |

| 評価の観点 | 評価のポイント | 判断（該当する「□」を塗りつぶす） | 左の判断の理由 |
|---|---|---|---|
| (5)収支差額の納得性 | 収支差額の状況は市民に理解が得られるか<br>（市民とは競技団体以外の市民を含む） | □理解は得られる<br>■概ね理解は得られる<br>□理解を得ることは難しい | 収益をあげることよりも市民へスポーツ活動を行う場を提供することが本来である。しかし、指定管理者制度を採用している以上、市が直営する以上のメリットが結果として出ればいいが。 |
| (6)類似施設・機能の有無 | ①官民を問わず、狭い範囲で同様な施設が立地していないか<br>②施設機能は近隣施設と重複しないか | □類似施設・重複機能はない<br>■類似施設・重複機能がある | いこいの広場、大東総合運動場、大東北運動場、大須賀運動場と重複する施設・機能がある。 |
| (7)施設機能代替の可能性の有無 | ①民間或いは他の公共施設（学校等）で代替できる機能はないか<br>②統合できる機能はないか | □代替の可能性はない<br>■代替の可能性はある | 代替できる。 |
| (8)運営形態の合理性 | ①指定管理者制度での運営が最適な運営形態か<br>②民間等への移管や移行はできないか | □現状は合理的である<br>■現状は概ね合理的である<br>□現状は合理的ではない | 施設が老朽化している現状で民間への移管は難しい。 |
| (9)利用料金の設定 | ①利用料金の設定は適切か<br>②他市や民間の類似サービスと比較してどうか | □利用料金は適切である<br>■利用料金は概ね適切である<br>□利用料金は適切ではない | 市内の民間施設と比較し、大きく差がある料金設定がされているわけではない。 |
| (10)収支改善の見込み | ①コスト削減努力の余地はあるか<br>②利用者増は見込めるか | □改善は十分見込まれる<br>■改善の余地はある<br>□改善は難しい | これまでも努力していると思うが、さらなる努力をすればさらなるコスト削減につながる余地はあるように考えられる。 |

４　指定管理者の評価

| 評価の観点 | 評価のポイント | 判断（該当する「□」を塗りつぶす） | 左の判断の理由 |
|---|---|---|---|
| (1)管理運営の状況 | ①施設目的が発揮されているか<br>②公共性・公益性・公平性が確保できているか<br>③サービスの向上が図られているか | □適切に管理運営が行われている<br>■概ね適切に管理運営が行われている<br>□管理運営は不十分 | 施設の貸出について、調整予約という方法を導入し利用者の希望を極力優先する貸出ができている。 |
| (2)年度事業計画の内容及び実行性 | ①事業計画の内容が施設機能を最大限発揮する内容になっているか<br>②計画どおり事業が実施されているか | □事業の進捗は順調<br>■事業の進捗は概ね順調<br>□事業の進捗は不十分 | 年度計画に沿って事業を展開されている。 |

| 評価の観点 | 評価のポイント | 判断（該当する「□」を塗りつぶす） | 左の判断の理由 |
|---|---|---|---|
| (3)運営能力 | ①事業計画に沿った管理運営を安定して行う物的・人的能力を有しているか<br>②安全で安定した管理運営ができているか | □運営能力は非常に高い<br>■運営能力は高い<br>□運営能力は高くない | 各種のスポーツでの経験が豊富な職員によって管理運営され、施設の隅々まで気を配った管理がされている。施設の不備が発生さた場合も臨機応変な対応がされている。 |
| (4)コスト削減の状況 | ①効率的な運営が行われているか<br>②経営の課題・問題点を把握しているか<br>③コスト削減に向けた取り組みをしているか | □改善努力は十分に行われている<br>■改善努力はある程度行われている<br>□改善努力は不十分 | 結果としてまだあらわれていないが、全職員一丸となってコスト（特に光熱費）削減に向けた取組がされている。 |
| (5)危機管理等の措置 | ①個人情報管理及び危機管理マニュアルは整備されているか<br>②他施設の事故等を即座に反映するなど積極的改善努力がみられるか | □適切な措置がとられている<br>■概ね適切な措置がとられている<br>□措置は不十分 | 全職員対象の防災訓練の実施、事後検証をすることで危険と思われる箇所の確認、全員での意思統一がされている。また、全職員が普通救命講習も積極的に受講している。 |

５　総合評価

| 区分 | 評価の観点 | 検討のポイント | 評価結果 |
|---|---|---|---|
| 現状総括 | 施設の意義・成果 | ①施設を維持する必要性は高いか<br>②施設は適切に管理運営され、成果を上げているか | いこいの広場と重複する設備もあり、検討の余地あり。 |
| | 施設の問題点・解決すべき課題 | ①施設が抱える問題点は何か<br>②解決すべき課題は何か | 利用者の大幅増が見込めない。施設（テニスコート、屋外プール）の老朽化に伴う改修等に今後も費用を要する。 |
| 区分 | 評価の観点 | 判断（該当する「□」を塗りつぶす） | 左の理由・改善プランなど |
| 今後の方向性 | 必要性の評価 | ■改善プランを策定し継続する<br>□地域等で支える仕組みを検討する<br>□運営形態を変更して継続する | 施設の老朽化に対する政策が課題である。年間利用者人数の約半分が夏季営業の屋外プール利用者である現状からも民間への移管も検討材料である。 |